

## 第23回那須塩原市子ども・子育て会議 まとめ

### ○議題

#### (1) 第2期子ども・子育て未来プラン（案）について

##### ◆説明主旨

- ・変更点1点目として施策の展開における構成について現状と課題と具体的な事業の間に、新たに施策の方向性、目標という項目を設け、その基本施策を達成するために、どのように取り組んでいくのかということを具体的に記載。
- ・2点目について、第2期プランの評価方法について、掲げている施策そのものが、どの程度進展、推進できたか評価するため、担当課の自己評価の後、子ども・子育て施策推進委員会での評価も加える。
- ・基本方針1から8についてポイントを絞って説明。
- ・第2期未来プランについての国の指針等について、子ども・子育て支援事業はつい先日示されたが、まだ次世代育成推進法や子どもの貧困対策に関する大綱については示されていないため、改正後され次第、反映させるよう策定のほうを進めていく。

##### ◆委員からの主な意見

- ・（八木澤委員）基本施策2の児童虐待防止の現状で「予期しない妊娠が虐待リスクにつながる」と記載してあるが、望まない妊娠についての対策は下の施策にない。基本施策3の母子保健に記載すべきではないか。
- ・（八木澤委員）基本施策2の子どもの居場所づくりで「家庭や学校以外で居場所を持ってない子ども」という表現があるが、家庭でも居場所を持ってない子どもがもっとも支援が必要である。記載の修正をすべきではないか
- ・（佐藤委員）基本施策3の学童期・成人期にむけた保健対策の推進で、根本に必要な施策の1つとして性教育があるが、ぼやかした言い方や施策となっている。もっと性教育について突っ込んだ表現や施策を実施してはどうか。
- ・（浅香会長）乳幼児とのふれあい体験について、中学生まで拡大して実施してはどうか。
- ・（浅香会長）養育支援訪問事業で、問題のある家庭には継続してどのくらい訪問等対応を行っているのか。

#### (2) 第2期保育園整備計画（案）について

##### ◆説明主旨

- ・「1. 計画の背景と目的」について、現計画を引き継ぎ、良質で適切な環境と地域の実情に応じた統一的な教育・保育の提供を基本としながら、諸問題に対応する教育・保育施設の整備を進めるとともに、未来を担う子どもたちが健やかに育つように、その環境を整えていくことを明記。
- ・「2. 計画の位置づけと期間」について、第2次那須塩原市総合計画を最上位計画とした福祉部門の計画体系に位置づけられた計画であり、市の子ども・子育て未来プランとの整合性を図って、保育園等の整備及び運営の方向性に関する計画として規定

- ・「3. 現状と課題」では(1)施設、(2)人口推計、(3)児童、(4)職員、(5)国の施策、(6)後期計画の改訂版の進捗、(7)第2期子ども・子育て未来プランとの連携についてと、それぞれ市の現状について記載。
- ・「4. 事業者アンケート調査について」は、今後の私立園の運営計画についての意向や考え方を把握するためのアンケート調査結果を記載し、その集計内容を資料として掲載する予定。また、このアンケート調査から見えてくる論点として3項目を記載。
- ・「5. 基本方針」について、先ほどまで述べてきた現状と課題を踏まえ、本計画における4つの基本方針を記載。
- ・「6. 整備に向けた施策」については、委員からの意見などを参考にしながら、具体的な施策等の記述をすることで検討しているが、今のところ、整備に向けた施策としては6つの項目と考えている。今後、具体的な事業等について記載をする予定であります。
- ・「7. 特定課題と対応方向について」は、今後、特に重要となる課題と対応方向について整理をした上で記載をしていく予定。
- ・「8. 最後について」はですが、今後の子育て支援策の一層の充実を図る内容として記載をしていく予定。

◆委員からの主な意見

- ・(佐藤委員) 公立保育園の正職員数の採用について具体的な数値目標を立てるべきではないか。
- ・(戸田副会長) 保育士確保の方策について、短期大学へのPRだけでなく、もっと違う取組を検討してはどうか。

### (3) 第2期放課後児童クラブ整備計画(案)について

◆説明主旨

- ・「1. 計画策定の目的」について、第1期の整備計画期間の5年で12棟のクラブを整備し、公設の定員が479人増の1,421人となる予定。少子化により市全体の児童数は減少しているが、女性の就業率の上昇等による社会情勢の変化によって、子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果からも分かるように、放課後児童クラブの利用者数は今後も増加が見込まれ、追加的な整備が必要なため、第2期整備計画で市が施設整備を行う公設児童クラブの整備について時期等を定める。
- ・「2. 計画の位置づけと期間」について、第2期那須塩原市子ども・子育て未来プランに基づき、今後の市の放課後児童クラブの整備の方向性を定めた計画として位置づけを行い、計画期間については、令和2年度から令和6年度までの5か年とする。
- ・「3. 放課後児童クラブの現状と課題」については、(1)小学校全児童数の推移及び放課後児童クラブの利用者数の推移でそれぞれ市の現状について記載。(2)那須塩原市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果では、ニーズ調査の結果について記載している。
- ・「4. 計画の必要性」については本計画の策定の必要性について記載。

- ・「5. 整備の方針」について、第2期整備計画の方針として、少子化等の要因を検討し、専用施設が現在ない青木小学校区を優先的に整備、その他の適正面積を満たしていない施設は、余裕教室等の利用、それから公民館その他の公共施設の空き部屋の利用、空き店舗等の活用や現放課後児童クラブへの送迎の対応を検討する。

また、民設児童クラブの活用として、新たな補助金の拡充等を検討する。

- ・「6. 整備を行う学校区、時期の基本的な考え方」については現在、教育委員会と協議中である。

◆委員からの主な意見

- ・（戸田副会長）空き教室や閉校した学校の利用について検討すべきではないか。
- ・（浅香会長）放課後児童クラブの低所得者に対する減免等、応益負担について検討すべきではないか。

○その他

特になし

了